

放射線治療のご説明

～放射線治療をお受けになる患者様へ～

このたび、放射線治療をお受けになるにあたり、わからない事やご心配などおありかと思います。そのような疑問にこの小冊子にてお答えさせて頂きます。放射線治療とは何か、どのように行われるのかについて分かりやすくご説明いたします。また、ここでの説明は不十分です。治療をお受けの際には当院の放射線治療医師、看護師、診療放射線技師、医学物理士、受付係が皆様にご説明いたしますのでご安心下さい。

放射線治療は、日常生活上のケアや注意事項を患者様やご家族の方に実践して頂く事で、より大きな効果が期待できます。そして治療中における身体的、精神的な負担の軽減にもつながります。当院スタッフは一丸となって、安全安心の治療を、また、患者様のより快適な生活に向けて努力を行って参ります。

放射線治療について分からぬ事、ご心配な事、何かありましたらいつでも何なりとお尋ね下さい。



国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
放射線治療科

1 放射線治療とは

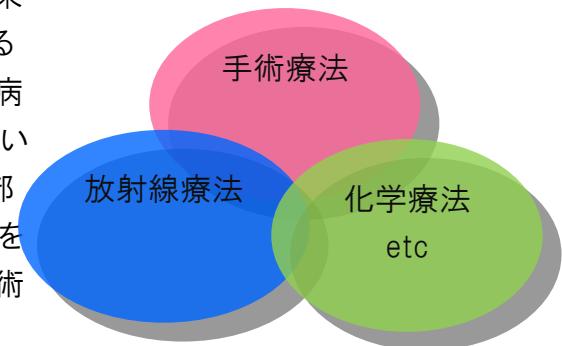
高いエネルギーの放射線を病巣(病気の部分)にあて、病気を治療する方法です。放射線は組織の細胞分裂を妨げる作用を持っています。この作用を利用した治療方法が放射線治療です。放射線が体にあたつても、痛みや苦痛はありません。また、放射線を利用すると、体の奥深い病気でも治療できます。



リニアック

2 放射線治療の目的

放射線治療の目的は、正常な細胞を出来るだけ傷つけずに、病気の組織を死滅させることです。放射線治療は、外科手術の様に病気の部分に対して治療を行う「局所治療」といわれる治療方法です。したがって照射した部分に限定した病巣を治療します。治療効果を上げるために、他の治療法(化学療法や手術など)を併用することがあります。



3 放射線治療のメリット

放射線治療のメリットは、手術のように病巣を取り除くことなく、組織や機能を残したまま治療が出来るところにあります。治療そのものに痛みを伴わず、患者様の身体的負担も少ない治療法です。しかし、放射線治療は手術と違い、病気の部分を直接見ながら治療を行うことが出来ないので、照射範囲の決定が難しいという点があり、照射範囲を小さくしすぎると十分に放射線が当たらず、また、広すぎると急性反応や副作用を起こしやすいという事がありました。しかし、当院の放射線治療機では、上記の様な心配はありません。治療直前に画像を取得することにより、数mm単位の位置合わせが可能となっております。



4 放射線治療のすすめ方

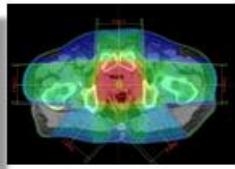
放射線治療は以下の様に進んでいきます。

診察



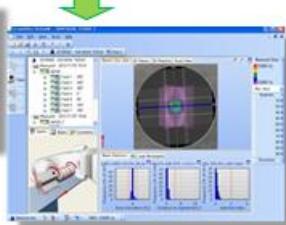
最初に、治療内容について放射線治療医の問診を行います。
不明な点など、ご相談ください。

治療計画



治療計画の為のCT撮影、照射部位を固定する為のアイテム作成を行います。
撮影画像を用い、コンピュータで最良の計画を立案する為の計算を行います。
(1~3日の日数が必要です。)

検証・転送試験



治療の安全を確保する為、
コンピュータの計算結果が良好であるかの確認作業を行
います。(1~2日の日数が
必要です。)

位置照合



治療開始前に位置が正しいか、最終確認を行います。
リニアックに装備されたX線撮影装置により、X線写
真、CT画像を取得し、数ミリ単位の位置合わせを行
います。

照射



治療は月曜日から金曜日まで行います(土、
日曜日、祝日はお休み)。治療方法によっては
1回で終了するもの、1週間で終了するものも
あります。

診察（火曜日）



週に1回診察を行います
照射部位の状況等を確認します。



診療所 クリニック



ご紹介頂きました医療機関の先生と密な連
絡をとり、終了時に報告書をお渡しします。

5 放射線治療計画で行う事

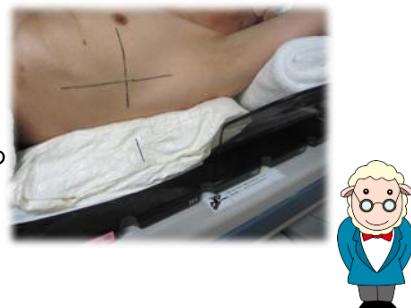
(固定具の作成)

放射線治療の行う部位によっては、体をしつかり固定する為の“固定具”を作成する場合がございます。これは治療の精度を上げる為、また、体の動きを抑え不要な場所に放射線が当たらない為に用います。固定具はそれぞれ患者様専用で、治療の度に使用します。



(皮膚に印を付けます)

毎回同じ部位に照射を行う為、消えにくいインクで皮膚に印を付けます。この印は、放射線治療を正確に行う上でとても大切なものです。印が消えそうになったら、放射線技師にお知らせください。お自分で印を付けなおす事、石鹼等で消さないようご協力お願い致します。



6 放射線治療室でのお願いと注意事項

- ✓ 治療室にご案内する際、安全確認の為お名前と生年月日をお伺い致します。毎回お聞きしますが、ご協力お願い致します。
- ✓ 治療室にはスタッフがご案内致します。それまでは待合にてお待ち下さい。
- ✓ 照射部位を簡単に出せる服装が望ましいですが、季節に合わせ無理のない格好で構いません。あえて薄着でいらっしゃらない様にお願い致します。
- ✓ 治療中はモニターテレビやマイクで様子を観察させて頂いております。何か不安なことや、不具合の際はお体を動かさず、お声をおかけ下さい。また、ブザーをお渡しいたしますのでご安心下さい。
- ✓ 治療方法によっては機械を動かしながら照射を行う場合がございます。最初は不安に思うかもしれません、安全確認を常に行っておりますのでご安心下さい。
- ✓ その他、何かございましたら何なりとお申し付けください。





【問い合わせ先】

国立健康危機管理研究機構
国立国際医療センター 放射線診療部 放射線治療受付
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
代表 03(3202)7181 内線 2640

